

LIM

マン島TTレース

毎年5月下旬から6月上旬にかけてイギリス王室自治領のマン島で行われるオートバイレース「マン島TTレース」(「TT」は「ツーリスト・トロフィー」の略)。

島の青空議会である「ティンワルド」に基づいて、島内の公道を閉鎖し一周60.7kmのコースを平均時速約210km・最高時速約330kmのスピードで3~6周(クラスによる)し、最も早いタイムを出したライダーが優勝となります。世界最古のオートバイレースとしても有名で、公道を使用する事もあり石垣に挟まれた住宅街の裏道や農道、山岳地そして海岸沿いと変化に富んだ景色を駆け抜ける姿には感動さえ覚えます。

マン島ってどこ??

マン島はイギリス王室自治領としてグレートブリテン島とアイルランド島の間に広がるアイリッシュ海に浮かぶ小さな島です。

人口：約8.6万人

面積：572km²

主都：ダグラス

日本との時差：-8時間

通貨：マンクス・ポンド (イギリス・ポンドも使用可)
(1ポンド=約156円 2016/04/20時点)

空港：マン島空港 (ロンドン・シティ経由が一般的)



マン島の紋章

参考URL・・・ <http://www.honda.co.jp/50years-history/>
<http://ja.wikipedia.org> 他

日本にも非常にゆかりのあるレース

TTレースには日本のオートバイメーカーとは深いつながりがあり、戦後日本のオートバイが世界に追い付くため日本のメーカーも続々と出場しました。

この内本田は1958年に初参加し完走、61年には初優勝。スズキは63年に日本人ライダーで初優勝を飾っています。特に本田は当時国外では無名のメーカーでしたが、かの本田宗一郎氏がTTレース参加プロジェクトを54年に宣言し、参加初年に完走したことで世界に「HONDA」の名を轟かせています。

マン島はオートバイ好きにとっての天国

TTレースの期間中は世界中から訪れるライダーや観客で島内の人口は20万人まで膨れ上がり、一般のライダーが参加できる「マッド・サンデー」と呼ばれる開放日が設けられます。また、島内ではTTレースの他にも「サザン100マイルロードレース」や「マンクス・グランプリ」など公道を使用したオートバイレースが開催されています。

一方で島内の道路の内、山岳地域のコースには速度制限は設定されていないため、近年では事故死するライダーが増加傾向にあり、過去100年を超える歴史の中で事故死したライダーが250人を数えていることが問題視されるようになりました。

新たな時代を迎えるTT

2010年より従来の排気量別やサイドカー付き(レーシング・ニーラー)とは異なる新たな取り組みとして、環境問題とモータースポーツを両立させる区分として「TT Zero」が正式採用されました。

「二酸化炭素排出ゼロ」としてバッテリー走行の実質上の電動バイクとなります。

当初は参加チームがベンチャー企業や大学の理工学部などに限られていましたが、ヤマハなどの大手企業も積極的に参加し盛り上がりを見せています。



優勝回数26回の記録を持つジョイ・ダンロップの像



From the author・・・雄大な景色を疾走するバイクには冒険心をくすぐられます。